

豊島区立目白小学校建替え基本構想に関する提言書 概要版

目白小の建替え等を考える会

1 「目白小の建替え等を考える会」の設立

目白小学校は、平成 20 年 7 月に策定された「豊島区立小・中学校改築計画」の前期計画（平成 20～29 年度の計画）の 2 校目の改築校として位置づけられ、下表のスケジュールで建替えが進められています。

基本設計にいたるまでには、教育内容や地域の実情に応じた学校施設づくり等の様々な条件を整理して基本的な考え方をまとめておく必要があります。その基本的な考え方を住民参画により検討する活動組織として、「目白小の建替え等を考える会」が平成 20 年 12 月に設立されました。

「目白小の建替え等を考える会」は地域の関連団体、目白小 P T A、学校、区および教育委員会から選出された委員と公募委員の 18 名で構成されており、2 回の準備委員会を経て設立されました。

【目白小学校建替えのスケジュール】

	H21	H22	H23	H24	H25	H26
考える会	基本的な考え方を区に提言					
区の計画		基本設計	実施設計	建設工事	建設工事	開校

2 目白小学校の現状の確認と建替えに伴う課題の整理

(1) 目白小学校の現状

① 通学区域

目白小学校の通学区域は、目白一丁目、目白二丁目、目白三丁目と目白四丁目の一部の区域です。また、目白小学校は隣接校選択制等の制度を利用し、通学区域外からの通学児童が多い学校です。

② 児童数・学級数等

目白小学校の児童数は 531 名（平成 21 年 5 月 1 日現在）、学級数は 18 学級、東京都の推計によると、今後は減少傾向にあり、平成 26 年度には、422 名と推測されています。

ア 児童数・学級数（平成 21 年 5 月 1 日現在）

学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
児童数	81	81	93	96	93	87	531
学級数	3	3	3	3	3	3	18

イ 児童数・学級数の推移

年度	21 年度（実数）	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
児童数	531	527	498	477	439	422
学級数	18	16	15	14	13	13

※平成 21 年度は 5 月 1 日現在の実数、平成 22 年度以降は東京都作成の推計値

※推計値は隣接校選択制等による数値を反映していない

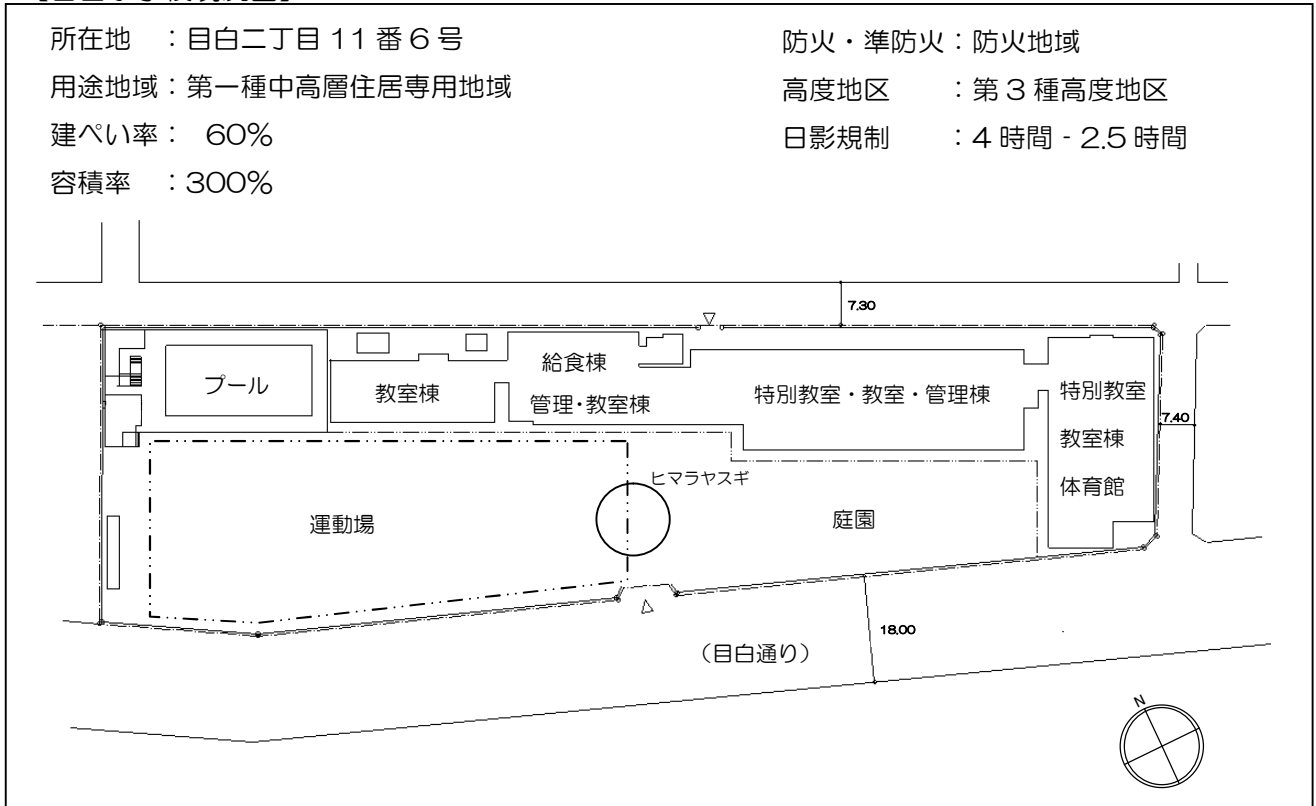
③ 学校の現況等

目白小学校の敷地内には、校舎、体育館、プールが建設されています。敷地等の状況は下記のとおりです。校舎の最古建物は、平成 21 年度に築 50 年目を迎え、体育館は、平成 24 年度に築 50 年目を迎えます。平成 16 年度から 17 年度にかけては、耐震補強工事を実施しましたが、給排水設備、電気設備、機械設備等の施設設備は、抜本的な整備が必要となっています。また、児童・学級数が現状の施設規模の限界に達しており、現況に応じた、施設規模の確保も必要となっています。

ア 敷地 a 面積：8,420 m²（庭園を含めた運動場面積 5,046 m²、有効面積約 2,500 m²）

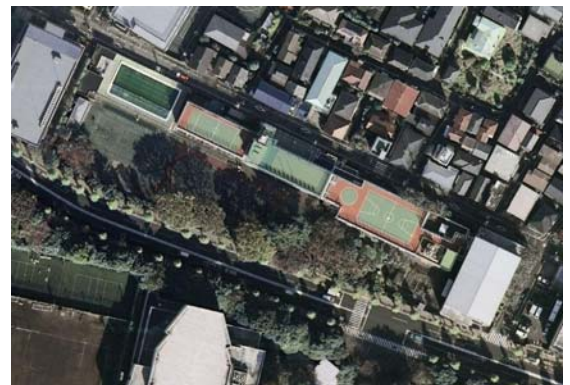
- b 形状：東西に細長い c 接道状況：東：7.4m区道 南：18m都道 北：7.3m区道
 イ 建物 a 校舎 構造：RC造3階建て 延床面積：4,954㎡ 築年度：S35(1960)年度
 S37(1962)年度、S38(1963)年度、S50(1975)年度
 b 体育館 構造：S造 延床面積：620㎡ 築年度：S38(1963)年度
 ウ プール 構造：RC造 面積：300㎡(25m×12m) 築年度：S51(1976)年度

【目白小学校現況図】



④ 周辺地域の状況

目白小学校は、JR山手線目白駅から目白通り沿いに東方向へ約200m、周囲に学習院大学や川村学園が立地する文教地区で、南側の目白通り、東側の明治通り、西側のJR線に囲まれた街区に位置しています。目白駅や東京メトロ副都心線雑司が谷駅が徒歩圏内で交通の便がよく、治安・防犯面では東側に目白警察署が立地しています。また、校地内の樹木、目白通りの並木や学習院大学の大学林等、緑豊かな環境にあります。



【目白小学校航空写真】

(2) 建替えに伴う課題

① 建築制限による課題

ア 土地の形状

東西に細長い敷地形状となっており、校舎の配置、運動場の形状に配慮する必要があります。

イ 北側隣地との高低差

北側隣地との高低差があり、道路斜線を考慮しなければなりません。



【北側隣地との高低差】

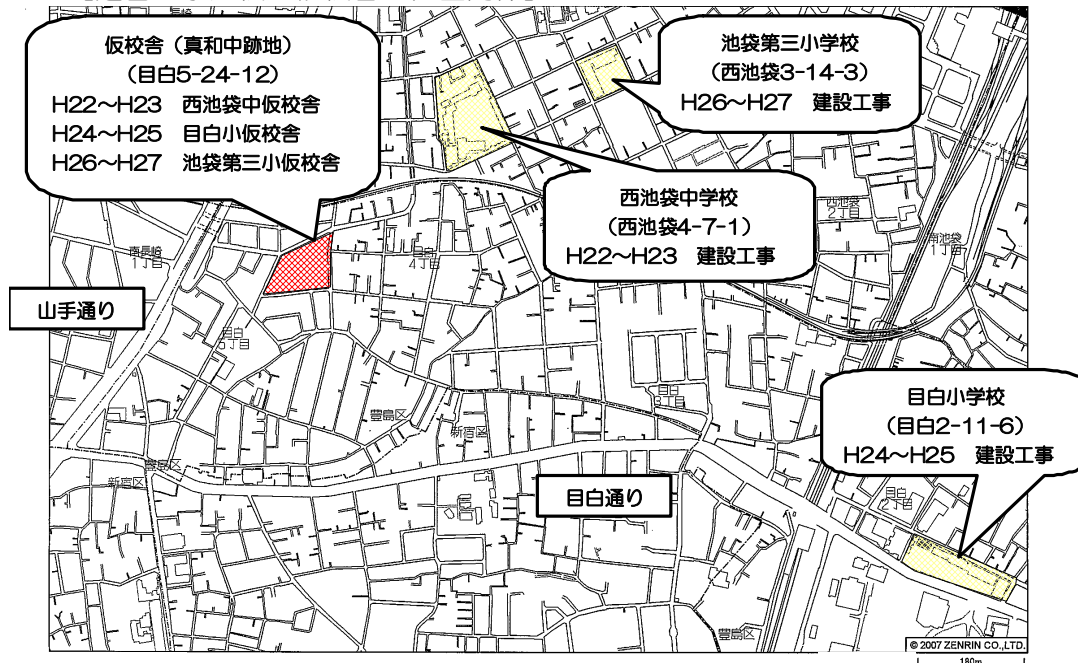
ウ 北側隣地が第一種低層住居専用地域で日影規制が厳しくなります。

② 仮校舎への通学

真和中学校跡地（目白五丁目 24 番 12 号）に仮校舎が建設され、目白小学校建替え時の仮校舎として使用します。仮校舎は西池袋中学校（平成 22～23 年度）、目白小学校（平成 24～25 年度）、池袋第三小学校（平成 26～27 年度）の 3 校の建替えで使用する予定です。

仮校舎の位置は現在の目白小学校から、直線距離で約 1.2 km 北西に位置するため、児童の通学には、何らかの対策が必要となります。

【建替え予定校と仮校舎の位置関係】



③ 樹木（ヒマラヤスギ）の移植

校舎の配置とともに、ヒマラヤスギおよび他の樹木の移植の可能性について検討する必要があります。

3 豊島区の施策等に関する理解

目白小学校の建替えに関連する区の施策等の理解を深めるため、豊島区立小・中学校改築計画、豊島区立小・中学校の適正化 第二次整備計画について、学習の機会を設けました。さらに、豊島区や目白小学校の教育方針について、子どもスキップ・地域区民ひろばについて、担当課長や目白小学校校長を招いて、説明を受けました。

【豊島区立小・中学校改築計画の前期計画】

No.	学校名	H20 2008	H21 2009	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017
1	西池袋中	基本設計	実施設計	工事 (仮校舎：旧真和中)	工事						
2	目白小			基本設計	実施設計	工事 (仮校舎：旧真和中)	工事				
3	池袋第三小					基本設計	実施設計	工事 (仮校舎：旧真和中)	工事		
4	池袋中					基本設計	実施設計	工事 (現校舎使用)	工事		
5	池袋第二小							基本設計	実施設計	工事	工事
	文成小							仮校舎(池袋第二小・文成小統合新校)			
6	巣鴨北中							基本設計	実施設計	工事 (仮校舎：現校舎内)	工事
	仮校舎[旧真和中]	設計	工事	西池袋中仮校舎	目白小仮校舎	池袋第三小仮校舎					—

4 学校見学会および学校建築に関する勉強会の実施

今後の協議・検討に向けて、イメージを共有し、施設計画の参考とするため、最近建設された区内外の小学校3校を見学しました。また、専門家を招き、学校建築に関する講義を受けました。

- (1) 豊島区立南池袋小学校（平成21年1月23日実施）
- (2) 江東区立豊洲北小学校（平成21年4月20日実施）
- (3) 足立区立千寿双葉小学校（平成21年5月1日実施）
- (4) 学校建築に関する勉強会（平成21年7月21日実施）

5 目白小学校の建替えに関するアンケート調査の実施

目白小学校の児童、保護者、教職員および通学区域の区民の方の目白小学校建替えに関する意見や考えを把握し、今後の施設計画検討の基礎資料とすることを目的に実施しました。アンケートでは、「ヒマラヤスギや庭園を残してほしい」、「自然豊かな学校にしてほしい」といった緑に関する意見が多く挙げられています。

6 目白小学校建替え施設計画の検討（ワークショップ）

目白小学校の建替えに関するアンケート調査の結果を踏まえて、ワークショップ形式で施設計画の検討を行い、建替えに関するコンセプト、基本方針、要望事項や校舎の配置案を話し合いました。ワークショップ形式で検討することにより、気軽に自由な発言ができ、活発な議論を行うことができました。

- (1) 施設計画の検討（平成21年9月14日、10月26日実施）

2回にわたり、2グループに分かれて、模造紙やラベルを用いてワークショップを行いました。1回目は、目白小学校の現状や新校舎について自由に意見を出し合いました。2回目は、1回目のワークショップでの意見に基づき、コンセプト案や基本方針案をまとめ、より議論を深めました。



【施設計画検討の様子】



【検討内容発表の様子】



【目白小学校建替え建物想定模型】

- (2) 建物配置の検討（平成21年11月16日実施）

1/200の大きさの建替え想定模型を用いて、建物配置について議論をかわしました。模型は、校舎が各階、各ブロックで分割できるようになっており、建築制限を考慮した上で、様々な校舎配置についての意見が挙げられました。

7 目白小学校建替えのコンセプトおよび基本方針

目白小学校の建替え施設計画検討ワークショップを経て、建替えのコンセプトおよび基本方針を以下のとおり決めました。

- (1) コンセプト

「**智が遊ぶ杜 光あふれる健やかな目白小**」

自然豊かな文教地区である目白の小学校として、緑豊かで、光があふれ、風がそよぐ健やかな環境の中で、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育むにふさわしい、まるで森の中を子ども達の知性が遊んでい

るような楽しく美しい空間をつくる。また、目白地区において、地域の核となるような、地域に開かれた学校づくりを目指す。

(2) 基本方針

① 豊かな学びの環境づくり

ア 多様な学習内容や少人数学習、学年全体や学年の枠を超えての活動、特別な支援を必要とする児童の学習・活動等の様々な学習形態に対応するとともに、豊かな情操や道徳心の育成に配慮した学習環境を整備する。

イ 情報機器・図書室や自然環境等の校舎内外の様々なものや場所を活用し、学びに対しての関心・意欲や探究心を育むことができる学習環境を整備する。

ウ 身体能力の育成や健康・安全に関する学習および保健・教育相談等の児童の心と体の調和的な発達に配慮した学習環境を整備する。

② 楽しさあふれる空間づくり

ア 日常の生活の場という観点から、快適性・安全性を確保する。

イ 児童の好奇心を育み、児童や教職員のリフレッシュやコミュニケーションの場としての、楽しい「居場所」をつくる。

③ 地域とのつながりを育み、いつまでも心に残る学校づくり

ア 地域の交流や学校開放としての場であるとともに、地域と児童の交流を育み、地域から児童の活動をあたたかく見守ってもらえるような学校をつくる。

イ 目白小学校の80年の歴史の面影を感じることでできる空間をつくる。また、児童が豊かな思い出を築いていくことでできる空間をつくる。

ウ 目白の街並みと調和し、地域の景観の先導役となるような学校をつくる。

エ 地域住民が安全に安心して生活できるよう、地域の防災拠点となる施設を整備する。

④ 木洩れ日と風を感じるエコスクールづくり

ア 自然豊かで採光・通風に優れた、照明機器や冷暖房機器等に頼らない、地球環境にやさしい学校をつくる。

イ 環境に配慮するとともに、環境教育への活用を考慮した施設・設備等を整備する。

8 目白小学校建替え施設整備方針

目白小学校建替えに関するアンケート調査の結果を踏まえて、ワークショップ形式による協議・検討を行い、目白小学校建替えの基本方針に基づいた、施設整備方針をとりまとめました。

(1) 学校全体

① 雰囲気・景観

- ・校舎内は全体的に落ち着いた色合いとする。
- ・校舎内は木材を用い、温かみのある雰囲気とする。
- ・周辺環境に配慮・調和した施設配置・形態とする。

② 施設・設備等

- ・将来の学習環境の変化や教室の使用状況の変化に対応できるよう配慮する。
- ・居心地がよく、児童・教職員がほっとできる交流・休憩スペースを整備する。
- ・同学年や異なる学年間、児童と教職員の交流・活動スペースを整備する。
- ・十分な収納・掲示・展示スペースを整備する。
- ・校舎の一部に曲線を用いる等、視覚的・体感的に楽しめる空間ができるよう配慮する。

- ・児童の心に残る場所、お気に入りとなる場所ができるよう配慮する。
- ・耐久性のある施設・設備とする。
- ・地下を有効活用できるよう配慮する。
- ・日照、建物の圧迫感、音、視線、臭気等について、近隣に配慮した施設とする。

(2) 校舎内（各室・共用部等）

① 普通教室等

- ・明るく開放的な空間とする。
- ・特別支援学級を区の方針に基づき、必要に応じて整備する。
- ・少人数学習や学年全体での活動等に対応できる施設を整備する。

② 特別教室等

- ・図書室、コンピュータ室の連携・充実に配慮する。
- ・日本の「和」を学び、感じとることができる施設を整備する。
- ・多くの児童が楽しく給食を食べ、食育活動に取り組むことのできる施設を整備する。
- ・児童がクールダウンできる施設、教職員に相談できる施設を整備する。

③ 管理諸室等

- ・教職員の接客スペース、打ち合わせスペースを整備する。

④ 共用部・屋上

- ・玄関を明るく、開放的な空間とする。
- ・トイレは児童数に応じた十分な数を確保し、機能的で快適な場所とする。
- ・廊下や屋上等について、児童の交流・活動・休憩等の場所として活用できるよう、校舎の内外の空間の融合を図る。

(3) 体育施設

① 体育館

- ・屋内運動場としてだけでなく、講堂や災害時の避難所としての機能に配慮する。

② プール

- ・安全面、衛生面、維持管理面等に配慮する。

③ 運動場

- ・児童が楽しく、安全に遊ぶことのできる運動場となるよう配慮する。
- ・運動や観覧に適した形状となるよう配慮する。

(4) 各種施設・設備

① 防災

- ・地域の防災拠点としての機能を十分に備えた施設を整備する。
- ・災害時の避難所として、安全かつ快適に生活できるよう配慮する。

② 安全

- ・児童が学校内で怪我をしないように配慮する。
- ・屋上、階段、窓等からの落下事故が起こらないよう配慮する。

③ 防犯

- ・防犯安全性が確保され、地域住民の目が期待できるよう配慮する。

④ 環境配慮

- ・採光、通風、施設配置等に配慮し、空調設備・照明設備等にできるだけ頼らない施設とする。
- ・省エネルギー化を図り、自然エネルギーを活用する。

- ・緑が豊かで、緑を感じることができる施設とする。
- ・自然や生き物を育て、触れ合う環境を整備する。
- ・周辺地域との調和を考慮した緑化計画を重視する。
- ・環境学習を行うことができる施設・設備等を整備する。

⑤ 放課後対策

- ・利用人数を想定した、十分なスペースのある子どもスキップを整備する。

⑥ 地域交流

- ・防犯安全性を保った上で、地域に開かれた学校とする。
- ・児童と地域が交流できるスペースを整備する。
- ・地域開放スペースを設け、学校専用スペースと明確に区分する等、運用に配慮した施設とする。
- ・地域から児童の活動や作品等を見守ってもらえるような学校とする。
- ・ヒマラヤスギ、二宮金次郎像は学校内に残すよう配慮する。

(5) 建替え期間中の留意事項

- ・仮校舎使用時の児童の登下校について、スクールバスの運行等で支援し、児童の安全性をできるだけ確保する。
- ・仮校舎使用時の目白児童館で実施する学童保育について、通う児童の安全等に配慮する。
- ・建替え工事中の騒音・振動等の軽減、工事車両の通行の安全に配慮する。

9 目白小学校建替え建物の想定

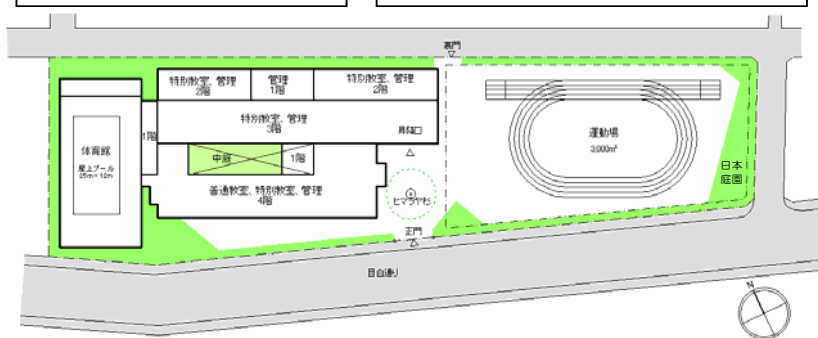
模型を用いて建物配置案を検討し、いくつかの配置案が挙がりました。議論の中では、西側配置案に賛同する意見が多く挙げられました。（模型は普通教室18室の確保を想定）

(1) 西側配置案

校舎棟は北側から2階、3階、4階と階段状の構成となっており、中庭が配置されています。体育館は長手を南北方向に配置されています。プールは体育館の屋上（各配置案共通）に設置されています。

延床面積：約7,500㎡
運動場面積：約3,000㎡

トラック：100m（各配置案共通）
直線：50m+10m（各配置案共通）



【メリット】

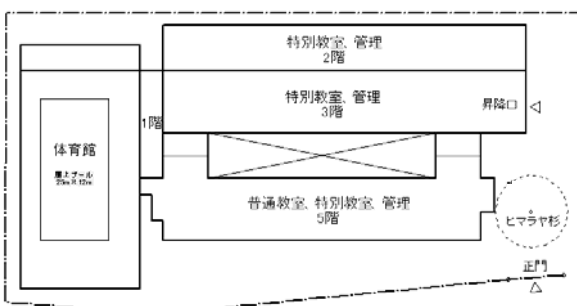
- ・ヒマラヤスギの存置が可能
- ・北側住宅地への圧迫感、日影の影響が減少
- ・中庭配置により、採光・通風が良好

【デメリット】

- ・東側配置案に比べ、運動場面積が小さい

(2) 西側配置案（5階建て）

(1)の西側配置案の4階建ての部分5階建てにした配置案です。（延床・運動場面積は未確定）



【メリット】

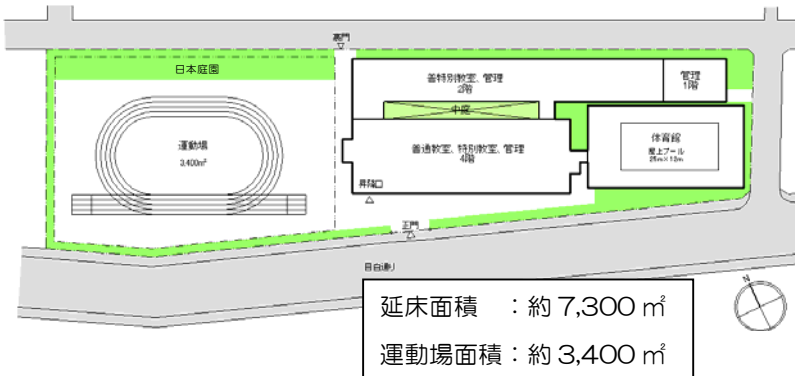
- ・5階建ての部分に新たな教室を設けることができる
- ・もしくは、校舎の長手方向を縮め、運動場を広くすることができる

【デメリット】

- ・5階への昇り降りが負担になる

(3) 東側配置案

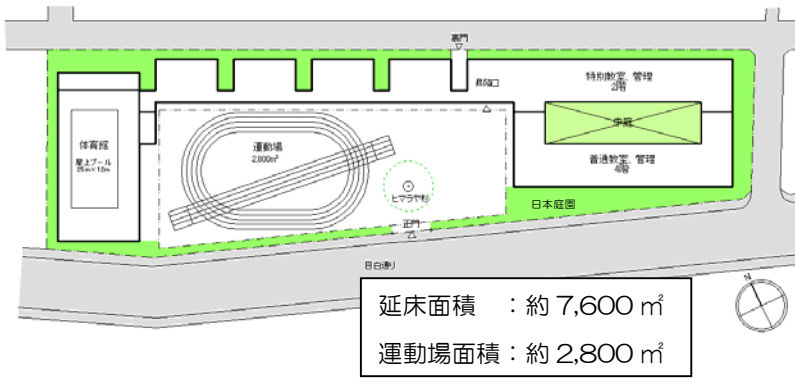
校舎棟は北側が2階建て、南側が4階建ての構成となっています。体育館は長手を東西方向に配置されています。



- 【メリット】
- ・西側配置案に比べ、運動場面積が大きい
 - ・北側住宅地への圧迫感、日影の影響が減少
- 【デメリット】
- ・ヒマラヤ杉の存置が困難
 - ・西側配置案に比べ、十分な中庭が確保できない

(4) 囲い型配置案

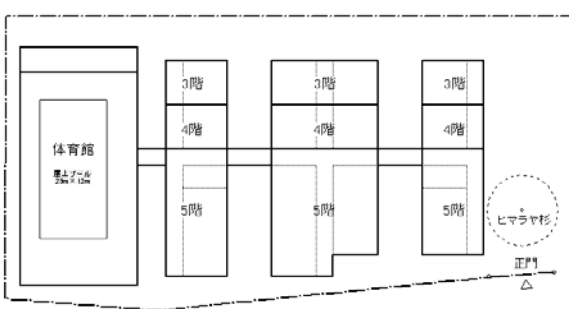
校舎棟は東側が4階建て、北側が2階建ての特別教室棟の構成となっています。体育館は長手を南北方向に西側配置されています。



- 【メリット】
- ・ヒマラヤ杉の存置が可能
 - ・建物の採光・通風が良好
- 【デメリット】
- ・運動場面積が小さい
 - ・廊下延長（動線）が長い
 - ・体育館屋上のプール専用階段およびエレベータの設置が必要

(5) 南北スリット型配置案

風通しの良さを重視し、南北方向に校舎棟を3棟並べた配置案です。（延床・運動場面積は未確定）



- 【メリット】
- ・採光・通風を中庭からとることで、目白通りからの騒音等の影響が小さくなる
 - ・独立性の高い空間づくりに適する
- 【デメリット】
- ・動線が長くなり、回遊性が弱くなる
 - ・校舎内の交流が少なくなり、見通しが悪くなる

10 目白小学校建替えに関する参考意見・要望等

目白小の建替え等を考える会の協議や地域説明会の中でも様々な意見・要望等が挙げられ、建替えについての参考となるようとりまとめています。学校施設以外についても、下記のような意見が挙げられました。

- ・学校の北側をもう一つの表の顔とし、また、北側の道路を景観に調和した、安全で、歩行者・自転車・自動車が共存できる道路にする。
- ・周辺の道路に空地や街角広場、沿道緑化等の公共性のある空間を設ける。
- ・目白児童館の跡地を、地域の核となるような地域住民の活動・交流の場とする。